

工場経営を安定化

アス合材東北

日本アスファルト合材協会東北連合会（野口典秀会長）は、仙台市内のホテルモントレ仙台で2024年度通常総会を開いた。写真



真。24年度は業務・技術両委員会の活動を中心に、関係機関と連携しながら諸課題の解決に努める。

野口支部長は「原材料などの高騰を販売価格に転嫁すべく努力している。製造数量が調査開始以来、最低の数字となり、特に東北地区は急激に落ち込む中、社会資本整備の重要な役割を担う合材工場の経営の安定に向け、地道に価格転嫁に取り組み」と呼び掛けた。

議事ではアスファルト混合物の設計単価や製造数量の調査、再生利用・循環利用に向けた再生資源の確保推進、計画的連続休日取得の啓発活動、事前審査制度への具申と諸課題解決などを盛り込んだ24年度事業計画を承認した。

(6・7)

